

年度 事務事業評価表 (年度振り返り)

補助事業である場合にはチェックが入ります。
※「行政補完的補助金」、「政策的補助金」の用語については次のページで説明しています。

事務事業名	新規/継続
政策名	市で行う事務事業は基本的に市の最上位計画（東久留米市第4次長期総合計画）の中で体系づけられており、ここでは当該事務事業がどの政策単位、施策単位、基本事業単位に位置づけられているかを記載しています。
施策名	
基本事業名	
所管課係名	

事業の概要

自主的（条例・規則等） 義務的（法律・政令等） 努力義務的（法律・政令等） **終期** _____ **年度** _____

補助事業 法令等 _____

市独自上乗せ 事務事業を以下の分類に分けています。
 自主的：法的に定めのない事業等（例：市の政策判断により実施する事業、市独自条例により実施する事業等）
 義務的：法的に「〇〇しなければならない」とある事業
 努力義務的：法的に「〇〇に努めなければならない」とある事業

特定財源 直営（委託無） 全部委託 一部委託 指定管理 補助金

近隣市状況 これまで外部評価（事業仕分けを含む）の対象となった実績のある事務事業の場合にはチェックが入ります。 西東京市

その他 実行プラン 対象 外部評価 対象 平成 _____ 年度 _____ 内部管理事業等 該当

事務事業の目的（事務事業の対象、手段、意図）

対象	「誰」、「何」を対象にしているかを記載しています。
事業内容・活動手段	「対象」に対して昨年度に行った活動のやり方、事業内容を記載しています。
目的・意図	「対象」に「手段」によるサービスを提供した結果、「対象」がどのような状態になることを目指すのかを記載しています。

活動指標（手段の数値指標化）

指標名		
実績値	↓ 数値化 ↓	「手段」の大きさ、規模を表す指標で、主な手段を1つ選び、数値として表せるよう指標化しています。

成果指標（意図したことの結果の数値指標化）

指標名		
指標の種類	↓ 数値化 ↓	「意図」したことが、どれだけ効果を上げているかを把握するため、指標を設定しています。また、毎年度目標値を設定し、次年度に実績値と比較しています。
目標値		
実績値		

事業費・人件費等

		年度	年度	年度
上「事業費（実績額）」に係る財源	事業費（実績額）①（千円）	国		
		都		
	一般財源	特定財源に伴う一般財源		
		一般財源		
	人件費（理論値）②（千円）			
	トータルコスト①+②（千円）			
	単位当たりコスト（円）			
	目標達成率（%）			

評価

業務フローに改善の余地がある 制度改正の余地がある 年度の方向性 _____

説明	総合評価（課題・方向性）
業務フローの改善、制度改正の余地があると考えられる場合はその内容を記載しています。余地がないと考えられる場合はその理由を記載しています。	翌年度以降に向けた事務事業の方向性を記載しています。

効率性	達成度	
説明		

効率性、達成度について、その評価となった理由を記載しています。

当該事務事業に対する総合的な評価、課題、方向性等を記載しています。

補助事業や給付事業において、国・都基準のほか市独自で予算の上乗せ等をおこなっている場合にチェックが入ります。

事務事業が市民サービスに直結しない内部管理上の事務事業等にはチェックが入ります。※内部管理事業等に該当する場合は、下の「成果指標」の設定は行いません。

正規職員、再任用職員の給料等から平均時間単価を積算し、平均時間単価に当該事務事業に要した時間を乗じた費用を理論値で記載しています。

昨年度の成果指標の「目標値」と「実績値」から算出しています。※計算方法は次のページで説明しています。

「トータルコスト」を活動指標の「実績値」で割った値です。

用語説明

行政補完的補助金	行政（地方公共団体）が当該事業を直接的に実施することなく、当該補助金の交付により被補助団体等が行政（地方公共団体）の事業等を実質的に補完している役割を有している補助金。つまり、行政から被補助団体等へ交付する補助金によって委託的な性格を有している補助金。
政策的補助金	行政（地方公共団体）がある特定の施策、事業等を推奨するために交付する補助金であり、政策的意図をもって交付する補助金。
特定財源	財源の用途が特定されており、市の裁量で他の経費に充当できない財源（あらかじめ使いみちが決められている財源）。国や都の支出金や使用料収入等の財源が該当します。
一般財源	財源の用途が特定されず、市で使いみちを決定する財源。
特定財源に伴う一般財源	市においては、国・都等からの特定財源に伴って一般財源を支出している場合（ある事務事業を行うときに、国1/2、都1/4、市1/4など、負担に対して市の負担割合が決まっているものなど）の市負担分を「特定財源に伴う一般財源」としており、「一般財源」と分けて記載しています。

「効率性」、「達成度」について

効率性	<p>「昨年度単位当たりコスト/一昨年度単位当たりコスト×100」を算出し、以下の基準にしたがって機械的に5段階評価をしています。</p> <p>5：前年度比20%以上の減 4：前年度比20%未満、10%以上の減 3：前年度比10%未満の減または10%未満の増 2：前年度比10%以上、20%未満の増 1：前年度比20%以上の増</p> <p>※活動指標が「0」などの理由により計算ができない場合は、中庸値として「3」と記載しています。</p>
達成度	<p>昨年度の「目標達成率」から、以下の基準にしたがって機械的に5段階評価をしています。</p> <p>5：120%以上 4：110%以上、120%未満 3：90%以上、110%未満 2：80%以上、90%未満 1：80%未満</p> <p>※「目標達成率」については、指標の種類が「増加を目指す指標」の場合は「昨年度成果指標の実績値/昨年度成果指標の目標値×100」で、指標の種類が「減少を目指す指標」の場合は「昨年度成果指標の目標値/昨年度成果指標の実績値×100」で算出しています。</p> <p>※前年度に目標を設定していない等の理由により計算ができない場合は、中庸値として「3」と記載しています。</p>